

● 教職課程に係る自己点検・評価結果【令和7（2025）年度】

1. 目的：本学の教育職員免許状を取得するための課程（以下「教職課程」という。）に係る内部質保証を行うことを目的とする。
2. 実施体制：教職課程を有する各学部等において自己点検・評価を実施し、教育推進機構教職支援センターにおいて確認した。
3. 実施方法：「教職課程の内部質保証に関する実施要項」に定める各評価項目について、3段階評価による自己点検・評価を実施した。
 <評価結果の内訳> ○：評価項目について、実施（適合）している。 △：評価項目について、概ね実施（適合）している。 ×：評価項目について、実施（適合）していない。

評価項目		評価の観点	自己点検・評価結果				
			人文社会科学部 ／人文社会科学 研究科	教育学部 ／教育学研究科	医学部保健学科 ／保健学研究科	理工学部 ／理工学研究科	農学生命科学部 ／農学生命科学 研究科
1. 教育理念・ 学修目標	1-1	教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定（教育学部・教育学研究科）当該目標及び計画に加え「卒業認定・学位授与の方針（DP）」、「教育課程編成・実施の方針（CP）」及び「入学者受入れの方針（AP）」の策定状況	○	○	○	○	○
	1-2	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定プロセス	○	○	○	○	○
	1-3	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直し	○	○	○	○	○
2. 授業科目・ 教職課程の 編成及び実施	2-1	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	○	○	○	○	○
	2-2	教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	○	○	○	○	○
	2-3	教職課程の体系性	○	○	○	○	○
	2-4	I C T の活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	○	○	○	○	○
	2-5	学生の履修状況の管理（キャップ制等も含む）	○	○	○	○	○
	2-6	教職課程の充実・見直しの状況	○	○	○	○	○
	2-7	個々の授業科目の到達目標の設定状況	○	○	○	○	○
	2-8	シラバスの作成状況	○	○	○	○	○
	2-9	アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	○	○	○	○	○
	2-10	個々の授業科目の見直しの状況	○	○	○	○	○

評価項目			評価の観点	自己点検・評価結果				
				人文社会科学部 ／人文社会科学 研究科	教育学部 ／教育学研究科	医学部保健学科 ／保健学研究科	理工学部 ／理工学研究科	農学生命科学部 ／農学生命科学 研究科
3.学修成果 の把握・可視 化の状況	3-1	成績評価に関する共通理解の構築	●同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の標準化が計られているか（該当する科目がある場合のみ）	○	○	○	○	○
	3-2	教員の養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報の設定及び達成状況	●定期的に学生の学修状況や意欲を把握する体制を整えているか ●教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活用できているか	○	○	○	○	○
	3-3	成績評価の状況	●各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評価に反映することができているか ●公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか	○	○	○	○	○
4.教職員組 織の状況	4-1	教員の配置の状況	●教職課程認定基準（平成13年7月19日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足しているか	○	○	○	○	○
	4-2	教員の業績等	●授業担当者がその授業科目を担当するにふさわしい研究実績を有しているか ●学校現場等での実務経験を有する者を専任教員あるいは外部講師として雇用し、学生の指導にあたっているか	○	○	○	○	○
	4-3	職員の配置状況	●教職課程を適切に実施するため、事務組織を設けているか	○	○	○	○	○
	4-4	FD・SDの実施状況	●教職課程を担う教員や職員として求められる資質・能力を高めるためのFD・SDが実施されているか	○	○	○	○	○
	4-5	授業評価アンケートの実施状況	●個々の授業科目の見直しに繋がるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	○	○	○	○	○
5.情報公表 の状況	5-1	学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	●法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行えているか	○	○	○	○	○
	5-2	学修成果に関する情報公表の状況	●大学に必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか	○	○	○	○	○
	5-3	教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	●根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができているか	○	○	○	○	○
6.教職指導 （学生の受け入れ、学生支援）の状況	6-1	教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	●教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか	○	○	○	○	○
	6-2	学生に対する履修指導の実施状況	●必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか ●「履修カルテ」を適切に活用できているか ●教職に対する意欲・適性を欠く学生に対して、教育的配慮に基づく履修指導が行われているか	○	○	○	○	○
	6-3	学生に対する進路指導の実施状況	●学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	○	○	○	○	○
7.関係機関 等との連携の 状況	7-1	教育委員会や各学校との連携・交流等の状況	●教員の採用を担う教育委員会や各学校と適切に連携・交流を図り、教育課程の充実や学生への指導の充実につなげることができるか	○	○	○	○	○
		教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	●教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができるか ●学校体験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できているか	○	○	○	○	○
	7-3	学外の多様な人材の活用状況	●学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができるか	○	○	○	○	○